平成２５年度ＩＳＯ/ＴＣ４６　国内委員会第２回本委員会
議 事 録

日　　時　：　　平成２５年１２月９日(月)　１４時００分～１５時３０分

場　　所　：　　文京シビックセンター３階　会議室Ａ

出 席 者　：　　委員長　菅野　育子　　愛知淑徳大学
委　　員　植村　八潮　　一般社団法人電子出版制作・流通協議会
保坂　裕興　　学習院大学
永田　治樹　　立教大学
佐藤　尚子　　国立国会図書館
樋口　清一　　社団法人日本書籍出版協会
斉藤　隆行　　科学技術振興機構
関係者　亀山　孝広　　経済産業省
事務局　光富　健一　　一般社団法人情報科学技術協会

(敬称略・順不同)

配布資料　：
（資料１）　2013 年度 ISO/TC46 投票済み案件と投票審議案件
（資料２）　NP 投票（新業務項目提案）の質問と回答
（資料３）　2013 SC11 パリ総会報告（保坂裕興）
（資料４）　ISO/TC 46/SC 8 Plenary 及び WG2, WG4, WG10 (永田治樹)
（資料５）　41 st Plenary Meeting ISO Technical Committee 46 Information & Documentation
（資料６）　国際図書館識別子（仮称）の検討について
（資料７）　ISO4217 通貨コードに関する検討について
（資料８）　Call for convenor for working group WG3 ’Conversion of written languages’
（資料９）　平成 25 年度成果報告書目次案と作成分担案について

前回議事録の確認
　前回議事録の確認を行い、承認された。

議　　事：

１）平成 25 年度 ISO/TC46 投票済み案件と投票審議案件について　　　　（資料 1）
　事務局より、資料１に基づき、平成 25 年 4 月以降 TC46 全体で、以下に列記した、34 件の投票済案件と、9 件の審議案件について報告があった。引き続き、資料１に基づき、委員長及び各リーダより投票済案件と投票審議案件について、以下の説明があった。
【TC46】
・3,4,5 は国名コードについての FDIS 投票であり、いづれも賛成の回答を行った。
・6 は、ISBN と TC46 が A カテゴリーのリエゾンを組むことになった事案である。
・7 の中国語ローマ字化に関しては、過去からの経緯により棄権の回答を行い、8 のタイ語の字訳に関しても棄権回答の予定である。
1. Ballot on the interest of TC 46 to reactivate SC 10
2. ISO/CD 5127 Information and documentation -- Vocabulary

3. ISO/FDIS 3166-1 (Ed 3) Codes for the representation of names of countries and their subdivisions -- Part 1: Country codes
4. ISO/FDIS 3166-2 (Ed 3) Codes for the representation of names of countries and their subdivisions -- Part 2: Country subdivision code
5. ISO/FDIS 3166-3 (Ed 2) Codes for the representation of names of countries and their subdivisions -- Part 3: Code for formerly used names of countries
6. N2441 Request from ISBN to become A-category liaison Vote on the establishment of A-category liaison between the International ISBN Agency and ISO/TC 46
7. ISO/CD 7098 Information and documentation -- Romanization of Chinese
8. ISO 11940:1998 (vers 3) Information and documentation -- Transliteration of Thai

【TC46/SC4】

9. N849 Request from ISBN to become A-category liaison to ISOTC Vote on the establishment of A-category liaison between the International ISBN Agency and ISO/TC 46/SC4
10. ISO/CD 18626 Information and documentation -- Interlibrary Loan Transactions
11. ISO 10160:1997 (Ed 2, vers 3) Information and documentation -- Open Systems Interconnection -- Interlibrary Loan Application Service Definition
12. ISO 10161-1:1997 (Ed 2, vers 3)Information and documentation -- Open Systems Interconnection -- Interlibrary Loan Application Protocol Specification -- Part 1: Protocol specification
13. ISO 10161-2:1997 (vers 3) Information and documentation -- Open Systems Interconnection -- Interlibrary Loan Application Protocol Specification -- Part 2: Protocol implementation conformance statement (PICS) proforma
14. ISO/DIS 25577 (Ed 2) Information and documentation – MarcXchange
15. A minor revision of the ILL standards A minor revision of the ILL standards ISO 10160, 10161-1 and 10161-2
16. ISO/DIS 18626 Information and documentation -- Interlibrary Loan Transactions
17. ISO/DIS 21127 (Ed 2) Information and documentation -- A reference ontology for the interchange of cultural heritage information
18. ISO/DTS 28560-4 - N891 RFID in libraries - - Part 4Information and documentation -- RFID in libraries -- Part 4: Encoding of data elements based on rules from ISO/IEC 15962 in an RFID tag with partitioned memory

【TC46/SC8】

・19 は図書館の成果評価あり、当初は TR であったが、大幅に組替えられた DIS が承認された。
・20 は図書館パフォーマンス指標の改定案であり、種々の議論があったが DIS として承認された。
・21 はアーカイブ統計であり、国立国会図書館、博物館関係者に問い合わせ、回答を行う予定である。

19. ISO/DIS 16439 Methods and procedures for assessing the impact of libraries
20. ISO/DIS 11620 (Ed 3) Information and documentation -- Library performance indicators

21. ISO/TC 46/SC 8 N 428 Information and documentation - International archives statistics

【TC46/SC9】

・22 は ISBN の改定に関する案件で、その改定に積極的に参加するために、日本出版インフラセンターの木俣洋一様を、エキスパートとして登録した。

・23 は ISRC に関する案件であり、日本レコード協会の畑陽一郎様を、エキスパートとして登録した。

・24 は中国から提案されたリンク識別子であり、2014 年 1 月開催の SC9 委員会で議論する予定である。

・25、26 は長く改定を繰り返している SR であり、継続の回答を予定している。

・27 は視聴覚番号であり、業界の方々の意見を参考にして、回答していく予定である。

22. N716 Call for participation -- Revision of ISO 2108, International Standard Book Number

23. N719, NWI Revision of ISO 3901 New Work Item Proposal, Revision of ISO 3901, Information and documentation – International Standard Recording Code (ISRC)

24. ISO/DIS 17316 Information and documentation -- International standard link identifier (ISLI)

25. ISO 999:1996 (Ed 2, vers 3) Information and documentation -- Guidelines for the content, organization and presentation of indexes

26. ISO 5963:1985 (vers 4) Documentation -- Methods for examining documents, determining their subjects, and selecting indexing terms

27. ISO 15706-1:2002 (vers 2) Information and documentation -- International Standard Audiovisual Number (ISAN) -- Part 1: Audiovisual work identifier

【SC11】

・28 は WG10 で検討されてきたレコードの処理の実施要領が、DTR として出てきたものであり、委員会では賛成の投票を行った。

・29 と 30 は関連があり、レコードのプロセスとシステムのリスク評価に関する DTR 投票であり、賛成の投票を行った。

・31 は記録マネジメントシステムのシリーズの一つである。ISO30300 と ISO30301 がすでに存在し、今回、新たにシリーズの 3 番目として NP 投票としてかけられた案件であり、内容を吟味した結果、賛成の投票を行った。

・32 は WG「記録の処理の実施指針」の開発を打ち切ることについての確認である。

・33 は「企業設計のための記録管理の原理、モデル、要件をいかに表現するか」を検討する NWI であり、エキスパートとして保坂先生を登録した。

28. ISO/DTR 18800 - ISO/TC 46/SC11N1332 Information and documentation -- Implementation guidelines for disposition of records

29. ISO/TC46/SC11N1341 - Annex C to ISO/DTR 18128.2 Annex C (Informative) Guide to using Annex A Controls from ISO 27001

30. ISO/DTR 18128.2 - ISO/TC 46/SC11N1337 Information and documentation -- Risk assessment for records processes and systems

31. ISO/NP 30302 - ISO/TC 46/SC11N1338 Information and documentation -- Management systems for records -- Guidelines for implementation

32. ISO/TC 46/SC11N1367 Decision to revise ISO/TC46/SC11/WG10 scope
33. ISO/TC 46/SC 11N1391 - Call for expert The Proposed Preliminary NWI topic is "How to express records management principles, models and requirements for Enterprise Architects"
34. ISO 23081-2:2009 Information and documentation -- Managing metadata for records -- Part 2: Conceptual and implementation issues

２）NWIP 投票について（2012 年 10 月以降変更）　　　　　　　　　　　（資料 2）

事務局より、資料 2 に基づき、NWIP 投票は、2012 年 10 月より変更があり、各投票について、賛成であっても、反対であっても、その理由をコメントする必要があり、コメントの無いものは、無効であるとの、報告があった。

３）各 SC の活動状況報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料 3）

保坂委員より、資料 3 に基づき、SC11 パリ総会について、以下の報告があった。

・WG13 で進めている ISO15489-1 記録管理、第一部：総説について定期見直しに着手し、2014 年 2 月に CD 投票を行う予定である。
・WG8 と WG9 で進められている ISO30300　MSR（記録マネジメントシステム）シリーズについて、現在は 30302　実施指針について検討が行われ、CD 投票の予定である。
・コーディネーション・グループは、活動の終わったワーキンググループの解散の提案、ISO/TC176/SC1「概念及び用語」とのリエゾンの締結など、関連する調整を行った。

４）ISO/TC46/SC8 コペンハーゲン総会報告について　　　　　　　　　（資料 4）

永田委員より、資料 4 に基づき、以下の説明があった。

・WG2（国際図書館統計）の ISO2789 は現在 5 版が出版され、6 版に向けて活動が進められている。
・WG5（出版物価格指標）と WG6（図書館出版統計）は、解散となる。
・WG9（ウエブアーカイビングの統計と品質）は、TR ができたので、それを継続審議している。
・WG7（国立図書館のための品質測定）と WG8（図書館施設に関する品質条件と基本統計）は、現在活動中断中であるが、改定作業を開始する必要がある。。
・議長が、ドイツからアメリカに変更となった。事務局はドイツのままである。

５）2014 年 ISO/TC46 ワシントン総会の対応について　　　　　　　　（資料 5）

菅野委員長より、資料 5 に基づき、以下の説明があった。

・2014 年 5 月 5 日よりワシントン DC で TC46 総会が開かれる。
・各 SC のリーダの方は、皆様に声をかけていただき、各 SC から最低一人は、参加していただきたい。

６）国際図書館資料識別子(International Library Item Identifier)の
　　国際提案について　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料 6）

菅野委員長より、資料 6 に基づき、以下の説明があった。

・SC9 から、国際図書館資料識別子（仮称）の新規提案を目指して、アドホックワーキンググループを立ち上げた。
・今後、識別子の名称、有用性、必要性をどのように説明するかの骨子を検討する予定である。

７）ISO 4217 通貨コードに関する検討について　　　　　　　　　　　　　（資料７）

資料７に基づき、以下の説明があった。

・ISO68 Financial services の国内委員より、ISO4217 通貨コードのファンドに使用している 900-999 までのコード領域が、不足しそうであるため、001-899 の未使用部分を使用したいが TC46 側はどのように考えるかとの、問い合わせがあった。

・これに対して、国内の図書館では、数字コードは使用しておらず、特に問題はないが、今後も情報を共有していく必要がある、との回答を行った。

８）Call for convenor for working group WG3 'Conversion of written languages'　(資料８)

菅野委員長より、資料８に基づき、TC46 事務局から、TC46 ワーキンググループ３「書き言葉のためのコンバート」のための議長選出の要請があり、どなたか候補者に心当たりがある方は、2014 年 1 月 15 日までに、申し出いただきたいとの、報告があった。

９）平成 25 年度成果報告書目次案と作成分担について　　　　　　　　（資料９）

事務局より、資料９に基づき、以下の報告があった。

・平成 25 年度 TC46 成果報告書を三菱総研に 2014 年 2 月 28 日までに提出が義務付けられている。

・委員長、各リーダに原稿を担当箇所のお願いするので、2 月 4 日までに事務局に原稿の提出を願いたい。

・原稿が集まった段階で各委員に送付し、コメントを頂き、2 月 14 日に提出予定である。

10）その他

事務局より、情報科学技術協会の会誌「情報の科学と技術」に ISO 特集を組みたい旨、会誌編集委員長から事務局に要請があった。ISO 特集のための原稿依頼があった際には、委員の皆様にご協力願いたいとの、報告があった。

（　以　　上　）